

平成 26 年度

定期監査結果報告書
(第 2 号)

袋井市監査委員

目 次

	ページ
平成26年度 定期監査結果報告（第2号）	
監査の種類、期日及び対象、範囲、方法、結果 -----	1
総務部 総務課 -----	2
市民協働課（駐車場事業特別会計） -----	2
防災課 -----	2
企画財政部 財政課（土地取得特別会計） -----	3
企画政策課 -----	3
秘書広報課 -----	3
健康推進部 市民課（国民健康保険・後期高齢者医療特別会計） -----	3
健康づくり政策課 -----	4
スポーツ推進課 -----	4
しあわせ推進課 -----	5
いきいき長寿課（介護保険特別会計） -----	5
議会事務局 -----	5
浅羽支所 市民サービス課 -----	6
水道部 下水道課（公共下水道事業・農業集落排水事業特別会計） -----	6

平成26年度 定期監査結果報告（第2号）

1 監査の種類

定期監査

2 監査の期日及び対象

平成26年11月11日	水道部	下水道課（公共下水道事業・農業集落排水事業特別会計）
	浅羽支所	市民サービス課
	企画財政部	秘書広報課
	健康推進部	いきいき長寿課（介護保険特別会計）
11月12日	企画財政部	企画政策課
	総務部	市民協働課（駐車場事業特別会計）
11月14日	健康推進部	しあわせ推進課
	議会事務局	
	企画財政部	財政課（土地取得特別会計）
11月18日	健康推進部	スポーツ推進課
	総務部	防災課
	健康推進部	市民課（国民健康保険・後期高齢者医療特別会計）
	健康推進部	健康づくり政策課
11月19日	総務部	総務課

3 監査の範囲

平成26年9月末日現在における予算及び事務事業の執行状況

4 監査の方法

提出された監査資料、関係帳票を確認するとともに、関係職員から予算及び事務事業の執行状況の説明を聴取し、適正かつ効率的に執行されているか監査を実施した。

5 監査の結果

監査の対象となった予算及び事務事業の執行について、おおむね適正に執行されているものと認めた。なお、監査の際に見受けられた軽微な事項については、その都度関係各課に改善又は検討を指導したので記述を省略した。

総務部 総務課

監査所見

- 1 職員定員適正化計画については、平成28年度から32年度までの次期計画を策定していくことになるが、時間外勤務の恒常化が見られる中、真に事務事業量に見合った人員配置となるよう、現状をよく分析し、適正な人員配置計画を行うよう検討されたい。
- 2 社会保障・税番号制度については、平成27年度から制度の運用が始まることから、市民課を始め関係部署とよく連携し、例規整備等遺漏が無いよう万全の準備をとられたい。
- 3 障害者雇用対策については、法定雇用基準率を下回っているため、早急に改善をされたい。
- 4 全庁的に、文書の取扱いを始め、例規に則った事務処理がとられていない状況が見受けられる。今一度、文書取扱の基本や例規の内容の確認・見直しについて、各課へ指導されたい。

総務部 市民協働課

監査所見

- 1 パートナシップによるまちづくり事業については、地域担当職員の地域との関わり方について、業務としての参加か地域住民としての参加か区別があいまいな場合がある。混同することなく、また、職員の負担増とならないよう検討されたい。
- 2 自主運行バスの運行については、市内の路線は前年度に比べ利用者が増加しているが、新病院線については、当初の見込みより利用者が少ない状況である。各路線について、その原因分析を行うと共に利用増加のPR活動等に取り組まされたい。
- 3 駐車場事業については、愛野駅前南駐車場は赤字経営が続いており、その他の駐車場についても安価な民間駐車場が増えていることから、指定管理者と連携し、早期に利用促進に向けて対策を講じられたい。

総務部 防災課

監査所見

- 1 消防団分団統合について、平成27年度から一部統合する方針が決まり、現在、統合検討委員会により協議が進められている。消防団は、地域の消防・防災活動において重要な役割を担っており、安全・安心なまちづくりを推進する上で十分検討されたい。
- 2 原子力災害時広域避難計画策定については、県の計画策定の影響から未だ計画策定に至ってはいない状況にあるが、県と調整を行い、市民の安全が確保されるよう早急に策定されたい。
- 3 地震や台風等による自然災害対策については、市民の生命・財産を守る防災・減災対策はもとより、市民の「自助・共助」の意識の高揚を図るよう引き続き努められたい。

企画財政部 財政課

監査所見

- 1 財政見通しについては、普通交付税の大幅な減額や公共施設の老朽化に伴う維持・更新に係る費用の増加、少子高齢化に伴う社会保障費の増加等厳しい状況が予想されており、より一層の歳入確保と歳出削減について、調査・研究し着実に取り組まれない。
- 2 庁舎及び総合センター施設については、建築後25年以上が経過し、老朽化が進んでいる。市民サービスの提供や業務に支障を来すことがないように、施設の維持管理に努めると共に、計画的に設備等の更新工事を行う等施設延命化の対策を施されたい。
- 3 委託業務及び賃貸借契約の書類監査を実施した結果、契約条項の不備や不適切な事例が散見されたので、関係各課へ契約事務の指導及び契約事務のマニュアル化を検討されたい。

企画財政部 企画政策課

監査所見

- 1 第2次総合計画策定については、新たな取り組みとして市職員と市民との意見交換を行う「パートナーシップ500人会議」を開催している。その結果を十分反映し、長期展望に立った魅力あるまちづくりの指針として総合計画を策定されたい。
- 2 公共施設マネジメントの推進については、近年公共施設の老朽化が問題になってきている。施設の更新には、多額の費用を必要とするが、公共施設の総量削減の可否や、費用負担額を平準化するため計画的に更新を行う等検討されたい。

企画財政部 秘書広報課

監査所見

- 1 広報広聴については、「広報ふくろい」の発行を月1回に変更したが、市民への市政全般の事業や施策の情報発信が低下することがないように努められたい。
- 2 姉妹都市ヒルズボロ市との国際交流について、これまでの人の交流といった形だけでなく、様々な交流の方法を研究・検討されたい。

健康推進部 市民課

監査所見

- 1 社会保障・税番号制度については、平成27年度から番号制度の付番や通知等が始まることから、制度の導入が円滑に実施できるよう、国・県からの情報に注視すると共に、関係部署と連携し、万全な態勢をとられるよう努められたい。
- 2 窓口サービスについては、総合証明自動交付機を導入しているが、市民への認知度が未だ低い状況であるため、市民サービスの向上となるようPRに努められたい。

- 3 国保税の滞納額削減については、税務課と連携し、滞納者の状況によっては差押等の法的措置を講じ、税の公平性確保に努められたい。
- 4 後期高齢者医療制度については、高齢化により被保険者の増加と共に保険料滞納者の増加が懸念される。滞納者が常態化しないよう新規の滞納者には重点的に納付を催促する等、収入率の向上に努められたい。

健康推進部 健康づくり政策課

監査所見

- 1 平成27年度に開設される「総合健康センター」の機能の一つとなる「健康指導センター」へ保健センター業務を移行するにあたり、より一層効果的・効率的に業務を推進できる組織体制を検討・構築し、日本一健康文化都市にふさわしい中枢機関となるよう整備を進められたい。
- 2 市民の健康づくりの推進については、「袋井発！市民健康ライフスタイルプロジェクト」として、「脱メタボ！運動教室」や「ふくろい発!!茶れんじ健康プロジェクト」を開催し、通常の保健指導や健康教育とは異なる角度から市民の健康づくり事業として取り組んでいる。これらの結果を検証し、より多くの市民の健康づくりに寄与する事業となるよう努められたい。
- 3 「健康チャレンジ!!すまいる運動 健康マイレージ制度」については、日常生活の健康的な生活習慣の動機付けと、定着を目的としたツールとして市民に活用されている。今後もより多くの市民が参加するよう、勤労世帯への呼びかけや県事業との連携など、実施方法や周知方法の見直し・工夫を行い、一層の事業推進に努められたい。
- 4 がんを始めとする疾病の早期発見・治療のため、特定健康診査、がん検診等の各種検診受診率の向上に向け、引き続き市民への啓発に努められたい。

健康推進部 スポーツ推進課

監査所見

- 1 総合体育館整備事業については、基本計画策定と今後の整備手法について検討段階であるが、最も効果的かつ効率的な方法について研究・検討されたい。
- 2 全国エアロビック選手権大会開催事業については、国のスポーツ拠点づくり推進事業における助成金が今年度で終了するが、「エアロビックのまち」の発信・定着に向け、今後も大会開催が継続できるよう関係機関とも十分協議・検討されたい。
- 3 浅羽B&G海洋センターについては、市として廃止の方向が示されたことから、今後B&G財団と協議を進められたい。

健康推進部 しあわせ推進課

監査所見

- 1 生活保護受給者については、高齢化の進行に伴い高齢者世帯の受給が増加傾向にある。高齢者が社会から孤立化することがないように、他の部署とも連携し対応されたい。
また、就労能力がある世帯（その他世帯）については、県の就労支援事業受託者の支援やハローワークと連携をとりながら、積極的に就労指導を行い、自立につながるよう努められたい。
- 2 児童発達支援事業については、子どもの障害に応じた支援の確保や、今後通園希望者が増加した場合も対応できるよう、施設の移転、整備計画について十分検討されたい。
- 3 住宅資金貸付金の未償還金については、前年度に比べ収入率が低下しており未だ多額の収入未済額が残っている。滞納整理等、償還金の解消に努められたい。
- 4 知的障害者福祉事業において、契約時に委託業務の内容が明確に記載がされていないものが一部見られたので、改善されたい。
- 5 課全体的に業務量が多く、職員全体に時間外勤務が多い状況である。その中でも時間外勤務時間が突出している職員も見られた。恒常的に時間外勤務が発生している状況なので、業務の見直しや効率化を図ると共に、適正な人員配置について検討されたい。

健康推進部 いきいき長寿課

監査所見

- 1 袋井市長寿しあわせ計画（第7次袋井市高齢者保健福祉計画、第6期袋井市介護保険事業計画）については、平成25年度に実施した高齢者の生活実態や介護サービス意向の調査結果を分析・反映させ、今後急速に進む高齢化社会、また、それに伴い独居高齢者や認知症高齢者の増加も想定される中、高齢者が引き続き安心して生活ができるよう策定をされたい。
- 2 介護保険料の徴収業務については、高齢化により被保険者の増加と共に保険料滞納者の増加が懸念される。滞納者が常態化しないよう新規の滞納者には重点的に納付を催促する等、収入率の向上に努められたい。

議会事務局

監査所見

政務活動費については、引き続き各党派等に適正な執行について周知し、収支状況等について市議会だよりやホームページ等で市民へ公表すると共に、使途の透明性がより一層確保されるよう努められたい。

浅羽支所 市民サービス課

監査所見

- 1 津波避難対策事業として、現在一時避難場所となる命山建設事業を行っているが、地域住民の命を守る施設整備であることから、遅滞なく事業を進めると必要がある。設置場所の選定など、地元自治会及び関係者と十分協議し整備を進められたい。
- 2 市民が本庁に出向かなくても、支所の窓口で各種行政手続きができるよう対応するために、担当職員の広範囲な知識の習得が求められる。常に本庁との連絡を密にして、窓口利用者への適切な対応や、市民サービスの向上に繋がるよう努められたい。
- 3 メロープラザについては、新たに結成された市民サポータークラブにより、市民が支える施設作りがスタートしたところである。市民・地域・行政が一体となって、施設がより一層利用されるよう検討されたい。
- 4 支所庁舎施設の老朽化に伴い、設備等の故障が増加している。設備の適正な維持管理に努め、必要に応じ修繕を実施し、市民サービスに支障を来すことがないよう努められたい。

水道部 下水道課

監査所見

- 1 市民の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全のため、また、下水道事業の経営の安定化のためにも、下水道処理区域の接続率の向上に努められたい。
- 2 特定集団推進地域浄化槽設置補助金制度については、引き続き対象地域へ制度を周知し、事業の推進に努められたい。
- 3 農業集落排水事業については、今後施設の老朽化による維持管理経費の増加が見込まれることから、計画的な修繕の実施に努められたい。
- 4 浄化槽雨水貯留施設転用工事費補助金制度については、利用者が少ないことから、より一層の制度の周知を行い、利用促進に努められたい。
- 5 徴収業務については、下水道供用開始区域の拡大に伴い、ますます滞納額の増加が懸念される。供用開始に伴う説明会や戸別訪問を実施する際、使用料や受益者負担金の趣旨を市民へ十分説明するとともに、長期に渡る滞納者については、公平性の確保から、滞納処分等を踏まえ厳正に対応されたい。